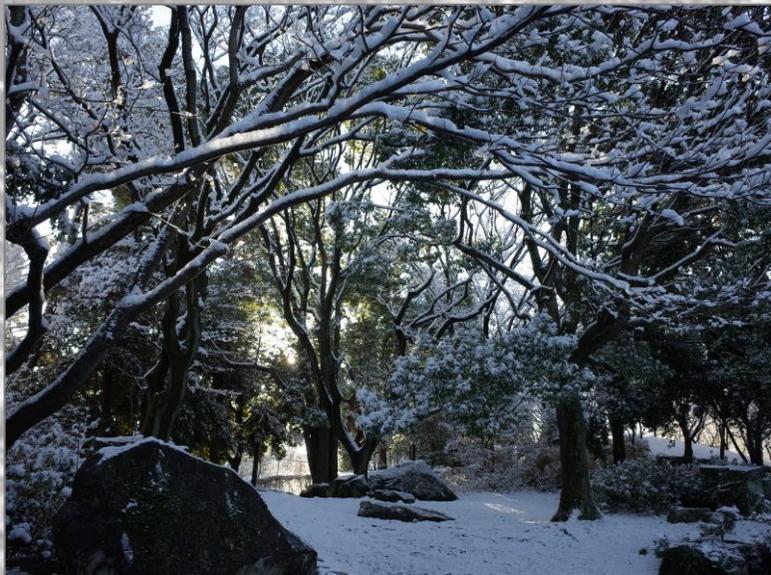


科技高 いきものの記

Vol.43 2022.1.12

佐藤龍平

冬はどこで過ごしているのだろう？ 冬眠する虫たち



雪が積もった猿江公園の様子
10cmの積雪だったようだ。池の水も凍っていた。

1月6日の午後は東京にしては多めの雪が降った。南岸低気圧の影響による降雪であり、栃木や群馬などの関東北部では雪が降らず、東京、埼玉、千葉、神奈川などの南関東を中心に雪が積もった。宇宙からもその様子がはっきりと見て取れたことが話題となった。東京で雪が積もるのは2020年3月以来、約2年振り。積雪が10cmを超えるのは4年振りだそうだ（23区に大雪警報が出たのも4年振り）。

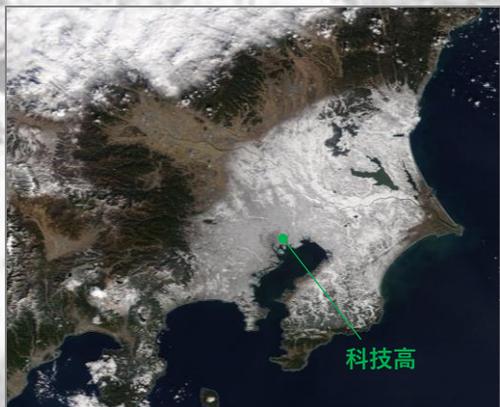
雪が積もった猿江公園の様子を見ておきたくて、7日の朝方に散歩してみることにした（午後にはすっかり溶けていたからこの判断は正解だった）。雪が降ると心が躍るのは何歳になっても同じだ。案の定、調子に乗ってザクザク歩き回っていたら斜面で足を取られて思っきり膝を打った。痛い…。

さて、こんな雪の中でも、性懲りもなく生き物を探してみる。ケヤキの樹皮をそおーっと、ひっぺがしてみようと、いた！冬眠中の小さな虫たちが



見つかった！冬の寒さは多くの生物にとって致命的なので、こうして木の皮の隙間などに集まって春を待つのだ。「夏にあれだけいた虫たちは、冬の間はどこにいるの？」と質問されたことがある。あえて探さなければなかなか見られないけど、こうやってひっそりと寒い冬を耐え忍んでいるのだ。日本の環境に適応した生き物は必然的に寒さ対策をしなければならない。どうやって冬を乗り越えているんだろう？という視点であえて冬に生き物を探すのも結構楽しい。通な楽しみ方かな？

藁の中で過ごすミノムシ。こんな寒さ対策もあるのだ。中にはミノガというガの幼虫が入っている。



宇宙から見た1月7日の関東地方の様子。
(NASAの地球観測衛星テラによる)
関東の東部～南部に雪が積もったことがよくわかる。

ケヤキの樹皮下で冬眠する虫たち



ウスキホシテントウ



モンクチビルテントウ



アカアシノミゾウムシ



マダラチピコメツキ



クモの仲間



トビムシの仲間



たくさんいるのはコバチの仲間。他にもヒメハナカムシ、クロハナカムシが紛れている。